

日语中“袜子”为什么要叫“鞋下”？PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/251/2021_2022__E6_97_A5_E8_AF_AD_E4_B8_AD_E2_c105_251922.htm 「くつした」はかに靴の中にはくものです。ではなぜ「くつなか」や「くつうち」ではなく「くつした」なのでしょう。袜子（くつした）的确是穿于鞋内的。但为何不称作“くつなか（靴中）”或“くつうち（靴内）”，而称之为“くつした（靴下）”呢？一般に衣は素肌に近い方が「中」あるいは「内」で、その反は「外」という感があります。たとえば、コトのことを日本で「外套」といいます。これは身体のもっとも外に羽るからでしょう。ジャケットなどについているポケットでも、普通のポケットにして素肌に近い方は「内ポケット」あるいは「内（うちかくし）」などといえます。一般来说，贴近肌肤的衣物感觉为“中”或“内”，而与之相反的则感觉为“外”。比如，大衣在日语中可称为“外套”。或许是因为它穿在身体的最外侧吧。即便是夹克衫的口袋，与普通的口袋相对，贴近肌肤的口袋称为“内袋”或“里兜”。しかし、衣服と肌の相的な位置を表すには「内／外」や「中／外」のほかに、「上／下」という言い方も存在します。たとえば「下着」というのは下半身に着るものという意味ではなく、素肌に直接着るという意味で「下着」と言います。「上着」も上半身に着る服という意味のほかに、下着と反の意味で用いる合があります。但是，用于表达衣服和肌肤相对位置的词汇，除了“内/外”和“里/外”，还有“上/下”一说。比如，“下着（内衣）”并不表示下半身穿着的衣物，而是因为可表示与肌

肤直接接触的意思，因此称为"下着（内衣）"。同样，"上着（外衣）"除了表示上半身穿着的衣物外，也可用于与"下着（内衣）"意思相反的情况。また、着物を着るとき肌着に直接くは「下」、もっとも外にしめるは「上」と言います。再有，穿和服时，系住贴身衬衣的束带称为"下带"，系在最外侧的束带则称为"上带"。このように、「上/下」と言っても、地面から垂直方向にた位置とは限りません。ここでたように、衣服について言う合は、身体あるいは素肌から垂直に「上」であるか、「下」であるかということがになります。照此看来，虽有"上/下"一说，但其并不局限于与地面垂直的位置关系。如前所述，在表述衣物时，还存在一个疑问，即以身体或肌肤的垂直角度判断，到底是"上"还是"下"呢？したがって、「靴下」の合は、足から垂直にて靴よりは下、という意味で「靴下」という言い方になるわけです。その合、なぜ「足上」と言わないのかという点が疑になるかもしれませんが、「上/下」というときは、あくまでも身に着けるもの同士の相的な上下がとなるため、足ではなく靴を基にするわけです。因此，在"靴下（袜子）"这种情况，从足部的垂直角度判断是位于鞋子下方，因而有了"靴下"一说。但或许人们又会有疑问，这种情况为何又不称为"足上"呢？这是因为用"上/下"来表述时，始终都是指身上穿着衣物之间的相对上下关系，所以不以脚为基准，而用鞋来作为基准。小编附图一张，或许有助于理解。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com